

センチュウ対策に! テロン™

土壤くん蒸剤

- 高純度の有効成分が土壤中でガス化し、土壤の隅々まで拡散
- ネコブ・ネグサレ・シストセンチュウに優れた殺線虫効果を発揮
- 60種以上の幅広い作物に適用
- コガネムシ幼虫も防除可能
- ばれいしょのそうか病・青枯病も防ぐ



農林水産省登録:第22032号

D-D剤 20L入



ネコブセンチュウ



ネコブセンチュウ



ネグサレセンチュウ



シストセンチュウ



そうか病

※1 写真提供:一般社団法人 日本植物防疫協会 ※2 写真提供:HP埼玉の農作物病害虫写真集 ※3 写真提供:北見農試 / 小野寺鶴将

指針番号 131 国連番号 2903

TMはザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標です。

■適用病害虫と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため本剤及びD-D剤の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害虫名	10アール当り 使用量	使用時期	総使用 回数※	使用方法
ブロッコリー、カリフラワー	テンサイシストセンチュウ	20ℓ (1穴当り2ml)	作付の 10～15 日前まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
はくさい、ほうれんそう、キャベツ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20ℓ (1穴当り 1.5～2ml)			1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
ねぎ	ネダニ類	20ℓ (1穴当り2ml)	植付の 10～15 日前まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
食用ぎく、花き類・観葉植物(ぎくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20ℓ (1穴当り 1.5～2ml)			1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
樹木類	センチュウ類 コガネムシ類幼虫		作付の 10～15 日前まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
うり類(漬物用)	ダイズシストセンチュウ	20ℓ (1穴当り2ml)			1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
だいず えだまめ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15～20ℓ (1穴当り 1.5～2ml)	作付の 10～15 日前まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげんを除く)	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20ℓ (1穴当り 1.5～2ml)			全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
かんしょ	ネコブセンチュウ	15～30ℓ (1穴当り 1.5～3ml)	作付の 10～15 日前まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
きく	ネグサレセンチュウ	15～40ℓ (1穴当り1.5～4ml)			全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
すぎ・ひのき (は種床・床替床)	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ イシクセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20ℓ (1穴当り 1.5～2ml)	作付の 30日前まで	1回	全面処理 耕起整地後、30cm×30cm間隔で地表面から深さ15cmに所定量の薬液を注入し、直ちに注入口をふさぎ、鎮圧する。
ばれいしょ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ ジャガイモシストセンチュウ	30～40ℓ (1穴当り 3～4ml)			全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。
茶	ネコブセンチュウ	40ℓ(1穴当り4ml)	作付の 30～45 日前まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
たばこ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20ℓ (1穴当り2ml) 4～6ℓ (1穴当り 1.3～2ml)			全面処理 耕起整地後、30cm×30cm間隔で地表面から深さ15cmに所定量の薬液を注入し、直ちに注入口をふさぎ、鎮圧する。 畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後に、植付予定位置の深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。但し、ガス抜きは行わない。

■上手な使い方



●耕起・整地はていねいに行ってください。 ●土壌水分は、土を軽く握ってひらくとこわれずに軽くひび割れができる程度が適正です。 ●たばこの畦内処理では、ガス抜きは行わないでください。

■くん蒸期間とガス抜き期間

●処理は原則として作付の10～15日前に行い、作付3～4日前に畑を耕起して十分にガス抜きをしてください。
●くん蒸期間、ガス抜き期間と効果、薬害の関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物によって異なります。はじめて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

処理時期(地温)	注入	処理時期とくん蒸期間・ガス抜き期間の目安	ガス抜き作業	定植
12～2月(5～10℃)	注入	15～20日	20日	定植
3～4月(10～20℃)	注入	10～15日	15日前後	定植
5～6月(20～25℃)	注入	7～10日	7～10日	定植
7～9月(25～35℃)	注入	7日	5日	定植
10～11月(10～20℃)	注入	10～15日	15日前後	定植

- 処理後に大雨があったり、土壌が重粘土質で通気の悪い所では、ガス抜きを特に念入りに行ってください。
- 温度の低い時、薬量を多くした時は、注入から作付までの期間を少なくとも1週間くらい長くしてください。
- ばれいしょのそうか病に対しては、地温が低いと効果が不十分な場合があるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又は、その新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

■貯蔵上の注意事項

●火気をさけ、直射日光があたらない鍵のかかる低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

■安全に使用するために

- 適切な服装と保護具を着用し作業してください。
- ガス抜き作業の際にも、適切な服装と保護具を着用してください。
- 作業およびくん蒸中に、人や家畜・家禽を圃場に立ち入らせないように注意してください。
- 作業後は、手足、顔を洗い、うがいをし、衣服を交換してください。
- 眼に入った場合は、多量の水でよく洗い、速やかに眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 薬液が衣服に付いた場合には、ただちに着替え、他のものと分けてよく洗濯してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使い終わった缶は、逆さまにして周囲に影響のない場所に臭いが抜けるまで立てておいてください。その後、危険のない場所で処理してください。●防除日誌に記帳しましょう。

※ この印刷物は2021年1月現在の登録内容に準拠して作成しました。